

2016年2月15日

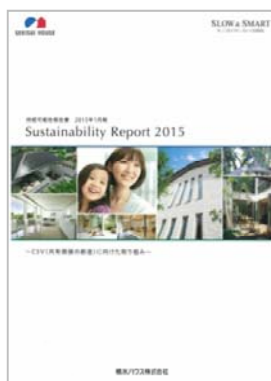
各位

積水ハウス株式会社

サステナブル社会実現に向け、社会課題解決を目指した環境・CSR活動の報告書 「サステナビリティレポート2015」 環境コミュニケーション大賞“優秀賞”を3年連続受賞

積水ハウス株式会社(社長:阿部俊則、本社:大阪市北区、以下「積水ハウス」)の環境・CSRに関する活動の報告書「Sustainability Report(サステナビリティレポート)2015」(2015年5月発行)が、第19回環境コミュニケーション大賞※1(主催:環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム)の環境報告書部門において「審査委員会特別優秀賞」を受賞しました※2。この賞は「G4ガイドラインや統合報告フレームワーク等を参考に、新しい報告書の作成に取り組んでいる。あるいは、統合思考や長期ビジョンといった新たな情報発信に取り組んでいる報告書のうち、特にすぐれた報告書」を顕彰するもので、「サステナビリティレポート2014」に続き、2年連続の受賞となります。また「サステナビリティレポート2013」から優秀賞は3年連続の受賞となります。今般の受賞についての主催者講評の概要は以下の通りです。

取り組むべき重点課題としてCSRにおけるマテリアリティを特定するとともに、それを事業戦略と関係付けたCSV戦略を策定し、積極的に取り組んでいる。取り巻く環境が激変する中、エコ・ファースト企業のリーダーとしてさらなる情報開示の充実を期待したい。



「サステナビリティレポート2015」では、GRIガイドラインG4の特定標準開示項目における46側面から30の重要な側面を絞り込み、具体的なCSR活動レベルで束ねた六つの「CSV戦略」を開示しています。

また、財務資本の提供者向けに「統合報告パート」のページを設けています。さらに、WEB版※3では約240項目にわたる豊富な情報量で、冊子版よりも詳しく取り組みを紹介しています。

積水ハウスグループは、快適な暮らしを先進の技術で実現するというブランドビジョン「SLOW & SMART」に基づき、あらゆるステークホルダーとともに、時代の要請に応える新たな価値を提案する環境・CSR活動に取り組むことにより、さまざまな社会課題を解決し、持続可能な社会構築を目指します。

※1 「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書等や環境活動レポートを表彰することにより、事業者等の環境コミュニケーションへの取り組みを促進するとともに、その質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。

※2 2月9日(火)に受賞作決定。表彰式は2月24日(水)に開催。

※3 ホームページでの閲覧、PDF版ダウンロードも可能です。 <http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/index.html>